



## 2024年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年11月14日

上場会社名 株式会社ブシロード 上場取引所 東  
コード番号 7803 URL <https://bushiroad.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木谷 高明  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理財務本部長 (氏名) 村岡 敏行 TEL 03 (4500) 4350  
四半期報告書提出予定日 2023年11月14日 配当支払開始予定日 -  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年6月期第1四半期の連結業績（2023年7月1日～2023年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年6月期第1四半期	11,584	△6.1	621	△28.3	770	△35.1	299	△53.4
2023年6月期第1四半期	12,340	17.7	867	△34.4	1,186	△28.9	643	△43.4

(注) 包括利益 2024年6月期第1四半期 481百万円 (△37.4%) 2023年6月期第1四半期 769百万円 (△29.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年6月期第1四半期	4.21	4.17
2023年6月期第1四半期	9.15	8.66

(注) 当社は、2022年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年6月期第1四半期	48,023	22,610	45.2
2023年6月期	46,335	22,399	46.6

(参考) 自己資本 2024年6月期第1四半期 21,717百万円 2023年6月期 21,585百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年6月期	-	0.00	-	4.50	4.50
2024年6月期	-	-	-	-	-
2024年6月期（予想）	-	0.00	-	4.50	4.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年6月期の連結業績予想（2023年7月1日～2024年6月30日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	51,000	4.5	2,000	△40.9	2,300	△48.9	1,234	△39.8	17.32

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年6月期1Q	71,308,550株	2023年6月期	71,256,550株
② 期末自己株式数	2024年6月期1Q	27株	2023年6月期	27株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年6月期1Q	71,299,365株	2023年6月期1Q	70,317,199株

（注）当社は、2022年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（四半期決算説明内容の入手方法）

2023年11月17日（金）15時30分以降、当社ウェブサイトにて動画を配信予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9
(1株当たり情報)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の分類が5類感染症へ移行したことに加え、海外からの渡航者も増加し、社会・経済活動の持ち直しの傾向が見られました。一方で、ロシア・ウクライナ情勢の長期化や為替の変動に伴う国内物価の上昇など、経済の見通しは依然として先行き不透明な状況となっております。

このような環境の中、当社グループは「IPディベロッパー」戦略のもと、TCG（トレーディングカードゲーム）を柱とし、グローバル展開を引き続き推進してまいりました。9月には、2023年を通じて実施している国際展示会「2023 BUSHIROAD EXPO ASIA」をクアラルンプールで開催、多くのユーザーとディストリビューターに会場いただきました。年内にはバンコク・シンガポール・ソウルでも開催を予定しております。

その結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高11,584,885千円（前年同四半期比6.1%減）、営業利益621,362千円（同28.3%減）、経常利益770,630千円（同35.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益299,940千円（同53.4%減）となりました。

各セグメントの経営成績は次のとおりであります。なお、セグメント売上高につきましては、外部顧客への売上高を記載しております。

なお、当第1四半期連結会計期間より、「スポーツ&ヘルスケア事業」としていた報告セグメントの名称を、ヘルスケア事業撤退のため「スポーツ事業」に変更しております。なお、この変更はセグメント名称の変更であり、セグメント情報に与える影響はありません。

#### 1. エンターテインメント事業

##### ①TCG（トレーディングカードゲーム）ユニット

各TCGブランドともに堅調に推移いたしました。その中でも、TCG「ヴァイスシュヴァルツ」では、今年30周年を迎えた電撃文庫から50以上の作品を収録した商品であるブースターパック「電撃文庫」が大きくヒットいたしました。

また、オリジナルIP創出を目的に2023年7月3日付で株式会社ブシロードクリエイティブから、事業の一部を承継して株式会社ブシロードワークスを新設分割により設立いたしました。

##### ②デジタルコンテンツユニット

モバイルゲームは依然として厳しい環境が続き、当第1四半期はコンソールゲームの発売がなかったことから、ユニット全体としても低調に推移いたしました。

モバイルゲームは全体として運営費の見直しを行いながら持続的な運用を図る一方、TVアニメ「BanG Dream! It's MyGO!!!!」が大きな話題になるタイミングに合わせてモバイルゲーム「バンドリ！ ガールズバンドパーティ！」内に新バンド「MyGO!!!!」を追加するなど、メディアミックスを活かした展開を行いました。

また、「東京ゲームショウ2023」へ出展し、今後発売予定のコンソールゲームの展示・試遊や発表会を実施するなど、ゲームブランド「ブシロードゲームズ」としての今後の展開を広くアピールいたしました。

##### ③BI（Bushiroad International）ユニット

BIユニットはTCGユニットとデジタルコンテンツユニットに重複して属しております。

TCGにおいては、各TCGブランドとも堅調に推移いたしました。

英語版TCG「ヴァイスシュヴァルツ」では、ブースターパック「hololive production Vol.2（ホロライブプロダクション Vol.2）」などを発売いたしました。

英語版TCG「Shadowverse: Evolve」では、英語版のリリースに合わせて全世界講習会「Shadowverse: Evolve Demo Caravan」を300以上の店舗等で実施し、グローバル展開を本格化いたしました。

デジタルコンテンツにおいては、日本国内同様に厳しい環境を受けて低調に推移いたしました。

##### ④ライブエンタメユニット

「バンドリ！」関連の音楽ライブを多数開催するなど、順調に推移いたしました。特に、9月16日・17日に有明アリーナで開催したRoseliaの約1年ぶりの単独ライブ「Farbe」は大きな注目を集めました。

パッケージについては、新バンド「MyGO!!!!」と「Ave Mujica」のCD出荷が好調に推移しました。

##### ⑤MD（マーチャンダイジング）ユニット

円安や輸送費・材料費の高騰による影響は継続しているものの、Roseliaの単独ライブ「Farbe」のライブグッズの販売やMyGO!!!!の催事を開催するなど、「バンドリ！」関連の売上を中心に堅調に推移いたしました。

デフォルメフィギュアの新ブランド「PalVerse」は2商品を発売し、高品質なデザインがしっかりと評価され、立ち上がりとして堅調な結果となりました。

## ⑥アドユニット

株式会社ブシロードムーブでは、モバイルゲーム関連の音響制作請負が減少傾向にあるものの、自社内外のイベント運営・制作など代理店事業の貢献により、堅調に推移いたしました。

アニメ委員会への出資および声優事務所「響」に所属する声優の稼働も引き続き積極的に行い、グループ事業全体の規模拡大に貢献いたしました。

これらの結果、エンターテインメント事業は、売上高9,899,525千円（前年同四半期比8.1%減）、セグメント利益361,795千円（同56.5%減）となりました。

## 2. スポーツ事業

「新日本プロレス」では「G1 CLIMAX 33」等の興行を、「スターダム」では「5★STAR GP 2023」等の興行を開催いたしました。観客動員数は引き続き緩やかな回復傾向を継続しており、順調に推移いたしました。

株式会社ブシロードウェルビーでは、新日本プロテイン×バンドリ！×ヴァイスシュヴァルツとグループ内のIPを掛け合わせて生まれたカード付プロテインバー「Roseliaプロテインバー」の販売を開始いたしました。また、フィットネスクラブ事業からの撤退により、営業損失が減少しました。

これらの結果、スポーツ事業は、売上高1,685,360千円（前年同四半期比7.5%増）、セグメント利益259,566千円（同646.9%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は48,023,799千円となり、前連結会計年度末に比べ1,687,953千円増加致しました。これは主に現金及び預金が1,240,592千円、投資有価証券が598,276千円増加した一方で、売掛金が711,031千円減少したことによるものです。

## (負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は25,412,982千円となり、前連結会計年度末に比べ1,476,444千円増加致しました。これは主に1年内返済予定の長期借入金が946,440千円、長期借入金が1,125,576千円増加した一方で、買掛金が213,417千円、未払法人税等が550,143千円、社債が200,000千円減少したことによるものです。

## (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は22,610,816千円となり、前連結会計年度末に比べ211,508千円増加致しました。これは主に配当金の支払いにより利益剰余金が320,654千円減少した一方で、新株予約権（ストック・オプション）の権利行使により資本金及び資本準備金がそれぞれ7,800千円、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が299,940千円増加したことによるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

TCGユニットでは、売上・利益は第2四半期は第1四半期に比べて落ち込む見込みですが、前期と同様に下期偏重となる進捗を計画しております。また、2023年8月14日に発表した「ブシロード中期経営計画2027」内で提示いたしました新規TCGについては、開発が順調に進んでおります。

デジタルコンテンツユニットでは、コンソールゲームの開発投資を続ける一方で、モバイルゲームについては引き続き運営費の適正化、販管費抑制により赤字タイトルの収益化を図りますが、黒字が見込まれないタイトルは撤退を検討いたします。

ライブエンタメユニットでは、コロナ禍からの回復に加えて、バンドリ！の新バンド「MyGO!!!!」が好調な立ち上がりを見せており、パッケージ出荷・ライブ動員とも上昇傾向にあります。

スポーツユニットでは、毎年恒例となっている1.4東京ドーム大会を、当期も2024年1月4日に「ベルク Presents WRESTLE KINGDOM 18 in 東京ドーム」として開催いたします。

また、2024年1月6日に開催する「ブシロード新春大発表会 2024」にて、新規TCGの詳細発表をはじめブシロードコンテンツ全体の下期以降の展開について発表する予定です。

これらによって、2024年6月期におけるグループ全体の売上高は51,000,000千円（前期比4.5%増）、営業利益は2,000,000千円（前期比40.9%減）、経常利益は2,300,000千円（前期比48.9%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は1,234,000千円（前期比39.8%減）と期初どおりで予想しております。

(注)業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	26,108,251	27,348,843
売掛金	6,336,390	5,625,359
商品及び製品	1,270,411	1,515,153
仕掛品	2,049,388	2,161,091
貯蔵品	64,895	65,038
その他	1,854,941	1,939,328
貸倒引当金	△96,009	△60,533
流動資産合計	37,588,270	38,594,280
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,116,044	1,102,036
工具、器具及び備品(純額)	121,807	116,255
車両運搬具(純額)	37,830	33,209
土地	1,027,220	1,027,220
リース資産(純額)	23,561	29,728
その他(純額)	142,130	230,152
有形固定資産合計	2,468,594	2,538,602
無形固定資産		
ソフトウェア	146,612	179,003
ソフトウェア仮勘定	28,076	6,852
のれん	1,434	1,181
その他	127,354	133,003
無形固定資産合計	303,477	320,040
投資その他の資産		
投資有価証券	4,144,268	4,742,545
長期貸付金	37,250	37,255
繰延税金資産	1,260,107	1,221,179
その他	550,048	586,770
貸倒引当金	△26,768	△26,189
投資その他の資産合計	5,964,906	6,561,561
固定資産合計	8,736,978	9,420,204
繰延資産		
株式交付費	10,597	9,313
繰延資産合計	10,597	9,313
資産合計	46,335,845	48,023,799

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	5,575,977	5,362,560
未払金	1,527,242	1,517,739
未払法人税等	1,163,973	613,829
前受金	866,699	853,000
1年内返済予定の長期借入金	4,212,493	5,158,933
1年内償還予定の社債	400,000	400,000
賞与引当金	101,390	199,624
その他	912,724	1,217,560
流動負債合計	14,760,500	15,323,248
固定負債		
長期借入金	7,476,622	8,602,198
社債	1,400,000	1,200,000
役員退職慰労引当金	89,064	71,472
退職給付に係る負債	114,833	129,248
繰延税金負債	2,541	2,541
その他	92,975	84,273
固定負債合計	9,176,036	10,089,734
負債合計	23,936,537	25,412,982
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,760,533	5,768,333
資本剰余金	5,697,303	5,705,103
利益剰余金	9,342,523	9,321,809
自己株式	△23	△23
株主資本合計	20,800,337	20,795,223
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△240,554	△275,012
為替換算調整勘定	1,025,224	1,196,880
その他の包括利益累計額合計	784,670	921,867
新株予約権	155,903	190,584
非支配株主持分	658,396	703,141
純資産合計	22,399,308	22,610,816
負債純資産合計	46,335,845	48,023,799

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)
売上高	12,340,365	11,584,885
売上原価	8,254,193	7,476,277
売上総利益	4,086,172	4,108,608
販売費及び一般管理費	3,219,127	3,487,245
営業利益	867,044	621,362
営業外収益		
受取利息及び配当金	48,642	48,605
持分法による投資利益	11,000	14,380
為替差益	185,762	100,413
助成金収入	111,769	4,360
その他	2,004	2,633
営業外収益合計	359,177	170,392
営業外費用		
支払利息及び社債利息	20,780	17,570
社債発行費	18,306	—
その他	208	3,553
営業外費用合計	39,295	21,124
経常利益	1,186,926	770,630
税金等調整前四半期純利益	1,186,926	770,630
法人税等	549,282	426,317
四半期純利益	637,644	344,312
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△6,063	44,372
親会社株主に帰属する四半期純利益	643,707	299,940



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	637,644	344,312
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△111,912	△34,458
為替換算調整勘定	241,943	171,830
持分法適用会社に対する持分相当額	1,880	197
その他の包括利益合計	131,910	137,568
四半期包括利益	769,555	481,881
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	775,178	437,137
非支配株主に係る四半期包括利益	△5,623	44,744

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2022年7月1日至2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	エンターテイン メント事業	スポーツ事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	10,772,140	1,568,225	12,340,365	—	12,340,365
セグメント間の内部売上高又は 振替高	11,378	74,771	86,150	△86,150	—
計	10,783,519	1,642,996	12,426,516	△86,150	12,340,365
セグメント利益	832,293	34,751	867,044	—	867,044

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2023年7月1日至2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	エンターテイン メント事業	スポーツ事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	9,899,525	1,685,360	11,584,885	—	11,584,885
セグメント間の内部売上高又は 振替高	53,170	54,722	107,892	△107,892	—
計	9,952,695	1,740,082	11,692,777	△107,892	11,584,885
セグメント利益	361,795	259,566	621,362	—	621,362

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、「スポーツ&ヘルスケア事業」としていた報告セグメントの名称を、ヘルスケア事業撤退のため「スポーツ事業」に変更しております。なお、この変更はセグメント名称の変更であり、セグメント情報に与える影響はありません。

また、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報についても変更後の名称で記載しております。

## (1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)
1株当たり四半期純利益	9円15銭	4円21銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益(千円)	643,707	299,940
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益(千円)	643,707	299,940
普通株式の期中平均株式数(株)	70,317,199	71,299,365
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	8円66銭	4円17銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益調整額	—	—
普通株式増加数(株)	3,973,871	637,717
(うち新株予約権)	(3,973,871)	(637,717)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	—	—

(注) 当社は、2022年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。